

# 日本プロテオーム学会 2019年大会 第70回日本電気泳動学会総会 NBRPシンポジウム・パネル展示

## シンポジウム

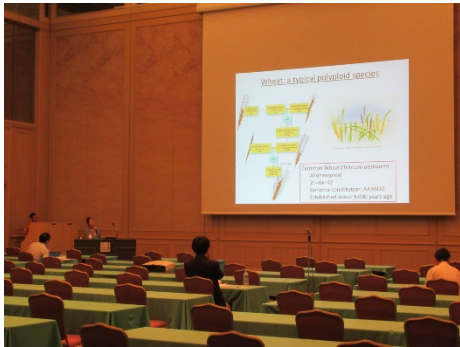
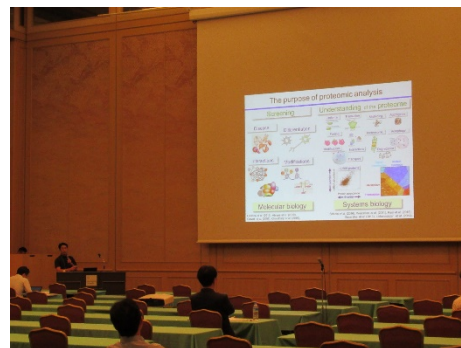
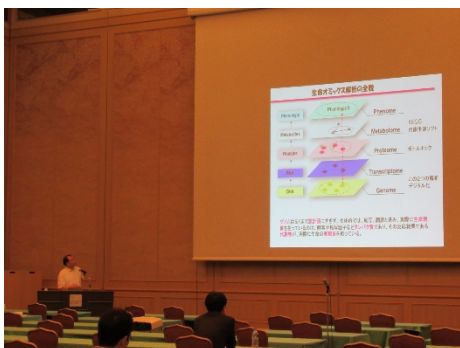
### 「プロテオーム研究におけるNBRPリソース活用最前線」

日時：2019年7月25日（木）8:50 - 10:50

会場：シーガイア コンベンションセンター 4F 会場2「天樹」

参加リソース・課題：4課題

ミヤコグサ・ダイズ、酵母、コムギ、実験動物マウス





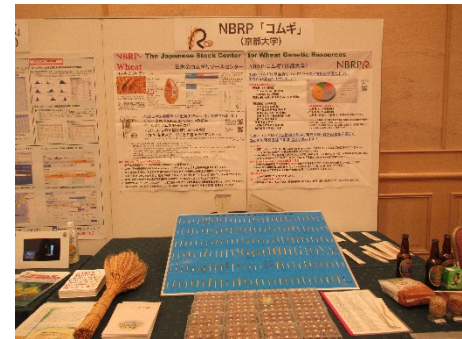
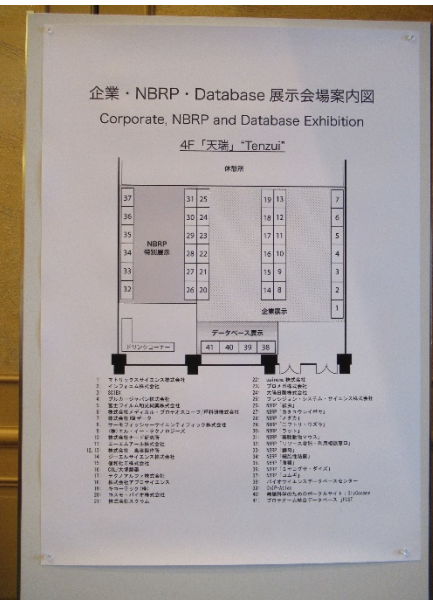
# 特別企画 実物つきパネル展示「プロテオーム研究をサポートするバイオリソース」

日時：2019年7月24日（水）- 26日（金）

会場：シーガイア コンベンションセンター 4F 展示会場「天瑞」

参加リソース・課題：12課題

酵母、細胞性粘菌、藻類、ミヤコグサ・ダイズ、コムギ、線虫、カタユレイボヤ、メダカ、ニワトリ・ウズラ、ラット、実験動物マウス、寄託・利用窓口（広報室）





### ○参加理由

宮崎大学・ミヤコグサ・ダイズ実施者である 橋口正嗣先生よりご提案をいただき、多数のリソース代表機関からの参加希望があった。NBRP広報室としても、本学会はプロテオーム解析という今までに広報活動を行っていない研究分野の研究者およびその関係者が参加する学会であることから、本学会での広報活動により、NBRPリソースの利活用の拡大を目指す。

### ○結果

- ・大会参加数：約300名
  - ・来場者数：シンポジウム：約40名／パネル展示：約153名/12課題・3日間
  - ・大会参加者が少なく、主にヒトを対象にした医療関係分野に集中している印象を受けた。
  - ・シンポジウムには約40人の参加者があった。大会参加者自体が予想（500人）より少ないこともあるが、NBRP自体を漠然とテーマにしたシンポジウムでは、集客に限界があると感じた。
  - ・ブースについても、他の学会に比べ、訪問者が少ない。3日目になって少しずつ訪問者も増えた。やはり積極的には足を運んでももらえない。
- ただし、具体的な利用者も獲得できていることから、新規分野での開拓としては少しではあるが、有意義な成果があったと考える。
- ・今回のような新規開拓分野での企画は、リソース利用度の見積もりが難しい。まずは広報室単独での事前参加を経て、大規模展示（複数リソース・課題参加）の実施の有無を検討することが必要である。